

# 社会賞受賞者一覧

回/年	氏名	所属機関名・職名	業績名
第1回 (1997年)	弓削 孟文	広島大学医学部麻酔・蘇生科	救急発生時に広島市の公共団体等と共に麻酔科医が参加し、救急医療技術を社会的に広めた
第1回 (1997年)	白崎 修一	総合病院釧路赤十字病院麻酔科	「朝日ソノラマ」を通し、手術の痛み等の恐れに対して相談を行った
第1回 (1997年)	袖山 修	浜松耳鼻咽喉科サージセンター麻酔科	新聞等を通し、新しい麻酔の技術の紹介を行なった
第2回 (1998年)	該当者なし		
第3回 (1999年)	浦上 秀一	埼玉成恵会病院救急・麻酔科	JICAの要請によるインドネシアの医療協力
第3回 (1999年)	福家 伸夫	帝京大学医学部附属市原病院集中治療センター	JICAの行うJDR (Japan Disaster Relief) の一部である医療チームにおける中心的活躍
第4回 (2000年)	武田 文和	埼玉県県民健康センター	WHOがん疼痛救済プログラム主任協力員として活躍、がん疼痛緩和ケアに貢献した
第5回 (2001年)	医聖・華岡青洲顕彰会	那賀町教育委員会	華岡青洲顕彰につとめ、一般市民への華岡青洲と麻酔の認知度を高めた
第6回 (2002年)	青柳 卓雄	日本光電工業(株) R&Dセンター (常勤嘱託) 青柳研究室長	パルスオキシメーターの発明
第6回 (2002年)	今井 彰	事務局顧問・(株)克誠堂社長	
第7回 (2003年)	佐藤 信勝		セボフルランの導入、開発を行った。
第7回 (2003年)	池田 和之		セボフルランの導入、開発を行った。
第8回 (2004年)	篠田 昌幸	元日本コーリン株式会社自動血圧計開発プロジェクトチーム	オシロメトリック式自動血圧計の開発
第9回 (2005年)	塚田 修 および (株)ディヴィンター 代表取締役	亀田総合病院腎センター所長・泌尿器科部長 (現 上田腎臓クリニック)	バルーン付き薬物持続注入器
第10回 (2006年)	松木 明知	弘前大学医学部麻酔科 名誉教授	医史学的研究による「日本の麻酔科学の歩み」の解明
第11回 (2007年)	該当者なし		
第12回 (2008年)	井上 宏司	東海大学医学部外科学系呼吸器外科学教授	気管支ブロッカー付チューブの開発と研究により、片肺換気の施行を現実化し、胸部外科手術における安全な麻酔管理の実績に貢献したため。
第13回 (2009年)	該当者なし		
第14回 (2010年)	該当者なし		
第15回 (2011年)	該当者なし		
第16回 (2012年)	前田 倫	西宮市立中央病院 麻酔科・ペインクリニック科	ボスニア・ヘルツェゴビナで対人地雷被害の慢性疼痛治療プロジェクトを実施。併せて教育・職業訓練を実施し、全人的な疼痛治療を実現した件について。
第17回 (2013年)	森島 久代	コロンビア大学医学部 名誉教授	50年以上に及ぶ日米両国での産科・周産期医学領域での貢献
第18回 (2014年)	該当者なし		
第19回 (2015年)	該当者なし		
第20回 (2016年)	該当者なし		
第21回 (2017年)	岡田 和夫	日本蘇生協議会名誉会長	①日本での蘇生学の展開 ② フランス医学の日本への紹介 ③ 日本Shock学会の創立 ④ 日本蘇生学会の立ち上げ ⑤ 日本蘇生協議会の立ち上げ ⑥ アジア蘇生協議会の創立と ILCOR ⑦ Guidelinesの作成
第22回 (2018年)	該当者なし		
第23回 (2019年)	該当者なし		
第24回 (2020年)	該当者なし		